

夜回り

山田先生

西陵商ラグビー部元監督

▶ 8 ◀

言葉遣いだけでなく頭の下げ方や身振りも指導



▼山田耕二(やまだ・こうじ) 名古屋市出身の73歳。元ラグビー日本代表。西陵商(現西陵)監督として1997年、全国高校大会で愛知県勢初優勝に導く。豊田自動織機総監督を経て、現在は愛知県弥富市で老人ホームの理事長を務める。

ラグビーは団体スポーツだ。司令塔や、前線で働く選手、それぞれが役割を果たし、長所を生かし、助け合い、チームで戦う。これは一般社会の人間関係とよく似ている。社会に出れば、立場の違う人たちと一緒に仕事をし

ていくことになる。高校の3年間は社会に出るまでの大事な準備期間。備えておきたい最低限の社会常識の1つが「あいさつ」だ。社会では、先輩の方々の輪の中に受け入れてもらって仕事をすることとなる。気持ちよく

あいさつできれば、それだけで印象は大きく変わってくる。

「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「ご苦労さまです」は低く下げ、頭を上げるのは相手より後。可能なら、膝をついたり腰を下ろすなどして、相手を見上げるように話すと

「ただあいさつをするだけでなく、相手よりも先に、頭は低く下げ、頭を上げるのは相手より後。可能なら、膝をついたり腰を下ろすなどして、相手を見上げるように話すと

批判された。このような意見に真っ向から反論するのはあまり得策ではない。そう思った私は、西陵商の生活指導主任として生徒らにあることを実践させ、結果をもって納得してもらおうと考えた。

徹底的に教えたあいつ

いったことも大切だと話した。校内で反発を招いたこともあった。「自分が下手に出て相手を持ち上げるなんて、それでは人間の平等の原則を否定することになるではないか」。一部の先生方からこう批判された。